

火山との共生

—火山とともに生きる人々と火山の恵み—



ジオサイト候補地検討報告書

(蔵王火山周辺および蔵王町エリア)

2018

蔵王町・蔵王町ジオパーク推進連絡会

めざそう！ 蔵王ジオパーク

蔵王町は3市3町による「蔵王ジオパーク構想」を推進しています



蔵王連峰には世界に誇れる火口湖「御釜」や「樹氷」、ミズバショウ群生地をはじめ、四季折々の変化を見せる美しい景観が豊富にあります。その美しさの源が、大地の営みによって造り出された貴重な地質や地形にあると知れば、蔵王の新たな魅力に気が付くことでしょう。

蔵王町では、この豊かな魅力ある地域資源を教育や観光に活かしながら地域振興につなげるため、宮城県白石市・七ヶ宿町・川崎町、山形県山形市・上山市と連携し3市3町が力を合わせて取り組む「(仮称)蔵王ジオパーク構想」を提唱し推進しています。

ジオパークは「地球・大地 (ジオ:Geo)」と「公園 (パーク:Park)」とを組み合わせた言葉で、「大地の公園」とも呼ばれています。地球(ジオ)を学び、丸ごと楽しむことができる場所であるジオパークは、日本ジオパーク委員会によってこれまでに43の地域が認定されています。

「蔵王ジオパーク構想」は、蔵王の地域資源を活かした教育活動やジオツアーなどの観光活用を通して地域を元気にしたり、自分たちの暮らす地域の魅力や素晴らしさを知ってもらう活動です。地域の皆さんがガイド活動などを通して主体的に人づくりや地域コミュニティづくりに取り組んだり、環境保護、産業振興、防災・減災など、さまざまな分野がつながりを持って取り組む「まちづくり」、そして人口減少社会の中で将来に向けた「持続可能な地域づくり」を目指すものです。

今回、「蔵王ジオパーク構想」を進める上で核となる見どころである「ジオサイト」について、蔵王町ジオパーク推進連絡会の皆さんに蔵王町を主な対象として調査・検討していただきました。その結果がまとめられた本書を見ると、「ジオサイト候補地」は蔵王連峰のみならず山麓の蔵王町全域に及び、私たちの身近なところに「蔵王の魅力」がまだまだ眠っていることに気が付くと思います。本書を多くの皆さんにご覧いただき、自分たちの住む地域について楽しみながら学び、地域に対する愛着や誇りを深めていただくきっかけにしていきたいと思えます。

このすばらしい蔵王という地域を、皆さん一人ひとりの手でアピールしていきましょう。

平成30年1月吉日

蔵王町長 村上 英人